



誠・力・光

令和4年6月13日  
練馬区立北町中学校  
学校だより 6月号

## 歴史をつなぐ

校長 中嶋 雅彦

雲が日の光を遮る中、法隆寺の参道を少し歩いたところで、記念写真を撮りました。法隆寺は推古15年(607)、聖徳太子と推古天皇により創建されたといわれています。「日本書紀」には、天智9年(670)に伽藍を焼失したとの記述があり、8世紀初頭に現伽藍が完成したそうです。現存する世界最古の木造建築群として有名です。修学旅行で最初に訪れたこの地は、「古都を訪れ、脈々と続いている我が国の歴史・分科・伝統に触れ、自分たちの住む日本をより深く知る。」という修学旅行の目的にふさわしい場所です。

修学旅行が6月6日から2泊3日で行われました。本校の3年生は、1年時の臨海学校、2年時のスキー移動教室と実施することができませんでした。中学校での初めての宿泊行事となり、生徒は健康管理、事前学習などを十分に行い、京都、奈良へ出発しました。子どもたちが目指した目標は、私が、当初予想していたものより高いものであることが、行動をともにすることにより理解することができました。時間を守り、たくさんの体験学習や班行動など、今までの分を取り戻そうとするかのように積極的に取り組んでいました。実行委員長の3年2組中村真子さんは、「古都の美 ～古き良き伝統にふれ、先人の思いから学ぼう～」というスローガンのもとに、「今回の修学旅行はルールを守り、感染症対策をしながら安全に行動してください。古都での貴重な体験を学校生活で生かしていきましょう。」と3学年の生徒に呼びかけていました。

本校では、学校行事などを通して、自ら規範意識を高め、お互い生活しやすい集団作りを図る心と態度を育てています。また、生徒の自治活動を活性化させ、生徒自らが作り上げる活躍の場を広げています。学級活動や生徒主催の取り組みで、生徒を全面に出した主体的な活動を支援し、協力する態度や連帯感・成就感を育てています。修学旅行を通し、生徒は、その活動を自らの力で、作り上げようと仲間と協力しながら目標に立ち向かっていました。実行委員長の話のように、ここで経験した成功も失敗も今後の学校生活に生かし、子どもたちがさらに成長することを期待します。

法隆寺のようによい歴史は北町中でも末永く受け継いでいきたいと願っています。今後も保護者や地域の皆様のお力をお借りして、宿泊行事などの体験活動を実施していきます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 教育指導課訪問

5月31日教育委員会教育指導課の先生方が来校され、3・4校時全教員の授業を参観されました。5校時は3年1, 2組少人数授業（英語）を研究授業として本校全教員とともに参観されました。授業の後半では、友達同士の会話はもちろんですが、参観されている先生方にも積極的に質問していました。なかには、指導課の先生にも物怖じせず質問している生徒もおり、驚きました。



その後は、指導課の先生方とともに本校教員の研修の時間でした。その中での内容を少し紹介します。

- ・北町の生徒はとてもよく挨拶をしてくれます。
- ・北町の先生方はとても仲が良く、子供たちにもいい影響を与えています。
- ・全先生方が、授業は「めあて」を掲げ同じスタイルで行い、生徒たちに考える力をつけさせています。等たくさんのお褒めのことばをいただきました。

「勉強しなさい」と生徒のみなさんは言われることがあると思いますが、実は先生方も勉強をたくさんしています。『**学び続ける教職員は学び続ける子どもを育て 学び続ける子どもの姿は保護者・地域を応援団にする**』北町中は今もこれからもそうあり続けていきます。

## 地域連携一斉防災訓練

6月11日（土）消防署、区民防災課、消防団の方々と自助・共助・公助をテーマに3年ぶりに取り組みました。感染対策でアルファ米のパックつめはできませんでしたが、それ以外は全て行うことができました。しかし、コロナ禍で行えなかった2年間で本校教職員、消防署の職員ともに入れ替えがあり、今までの事を知っている人が少ないなかでの取り組みとなりました。

地震を想定しての訓練です。「楽しかった」という感想はどうなのでしょう。起震車の揺れや、煙体験のように周囲が見えない状況になったら、どう行動したら良いのでしょうか。

少しでもこの防災訓練がいざという時に役立つと願っています。

最後には、簡易トイレが区民防災課から生徒全員に配布されました。

